

森の川自然散歩

2019年8月号



上：オキナワヤマタニシの角の部分の拡大。付け根にある黒い丸が眼になります。

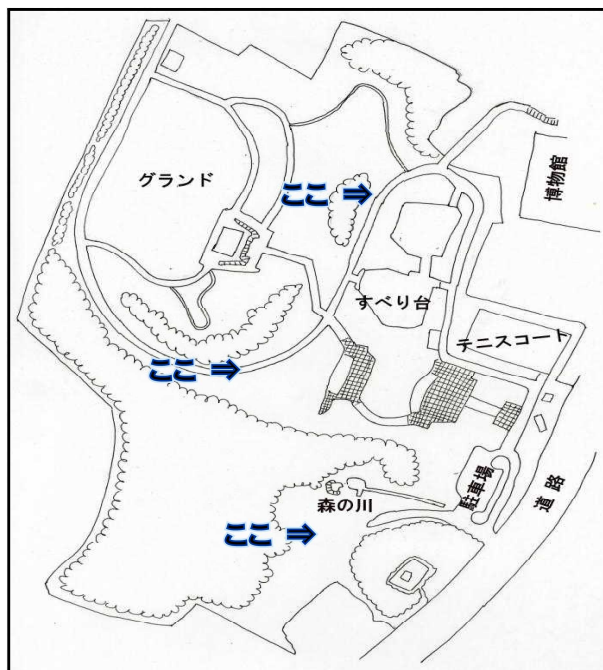
右：森の中の、苔むした石の上を歩くオキナワヤマタニシ。



角は出るけど、目玉は出ないよ

オキナワヤマタニシ（メモ）▶▶▶

- カラの直径は20~25ミリ、ふたを持っています。陸にすんでいる貝の仲間では、中型の種類になります。
- 陸にすんでいる貝ですが、名前にあるとおり、マイマイではなくてタニシです。どちらかという、海にすんでいる貝に近い仲間です。そのため、体のつくりもマイマイとは違っていています。
- 大きな違いは眼の場所です。マイマイのように角の先では無く、角の付け根にあります。また体(身)を貝の中に入れて、入口をふたで閉じることができます。
- 森川公園では、雨の後に、園路沿いのブロック塀や擁壁、森の川の石垣の上などで見られます。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(30) 君はどこから来た？ ニワゼキショウ

最近、森川公園や比屋良川公園を歩いていて、芝生の中に小さなかわいい花を見つけました。気になって、別の公園も歩いてみると、結構いろいろなところで見つかりました。

この花はニワゼキショウとって、芝生などと一緒に、あちこちを旅している花のようです。最近の言葉で言えば、外来種ということになります。

ニワゼキショウは、北アメリカ原産の植物で、日本に入ってきた時期は不明です。宜野湾市では1970年代後半から、各地の公園などで見つかっているようです。外来種とはいえ、その影響については、有無も含めて、何も分かっていません。



上：駐車場の周りの芝地で咲いていたニワゼキショウの花、

森川公園8月の植物だより

太陽の下であざやかに ～ オオゴチョウ ～



- 西インド諸島が原産の落葉低木です。沖縄県内では、庭や公園などに観賞用として植えられています。胸高直径が20～30センチで高さは1～5メートルほどになります。
- 森川公園には、入口から入って、右手の園路を上がったすぐの所に植えられています。ちょうど今頃が花の時期で、直径5センチ程の赤い花を密集させて咲かせます。これが夏の太陽に、とてもよく似合っています。
- 沖縄では、デイゴとサンダンカとともに、三大名花といわれています。

左：公園の入口近くで花を咲かせるオオゴチョウ (カラーでないのが残念!!)。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

